

館内のご案内

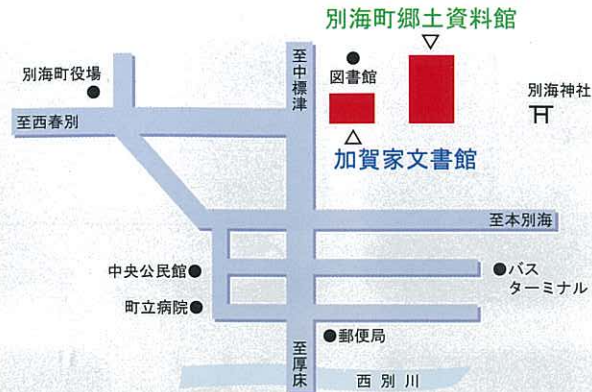
別海町郷土資料館



加賀家文書館



別海町郷土資料館・加賀家文書館の位置



根室交通・別海常盤町
バス停留所より徒歩3分



利用案内

別海町郷土資料館・加賀家文書館共通

開館時間 / 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
 休館日 / 毎月第2・4月曜日
 毎月第1・3・5日曜日
 毎土曜日(第2・4は除く)
 国民の祝日・年末年始(12月29日～1月6日)
 観覧料 / 一般 300円(240円)
 ※()は10名以上の団体料金
 ※高校生以下は無料

お問い合わせ

別海町郷土資料館

〒086-0201 北海道野付郡別海町別海宮舞町30番地
 TEL・FAX 0153-75-0802

加賀家文書館

〒086-0201 北海道野付郡別海町別海宮舞町29番地
 TEL 0153-75-2473

別海町郷土資料館



加賀家文書館



人々が残した大切な心を伝えたい

別海町郷土資料館



別海町の開拓にあられた先人たちの勇気と英知を讃え、郷土の歴史と自然を現代に伝えるために造られました。過去と未来をつなぐタイムトンネル、郷土資料館は、別海 of 自然・先史、そして開拓の歴史を8つのテーマにまとめ、資料で綴ったモニュメントです。



1. 別海の夜明け (考古コーナー)
縄文～アイヌ文化など別海町で出土した考古資料を展示しています。

7. のびゆく別海 (行政コーナー)
北方領土問題をパネル写真などでわかりやすく展示しています。

2. 大自然と共に (自然コーナー)
マンモスソウ臼歯化石、シマフクロウタンチョウなど天然記念物の剥製や昆虫標本を展示しています。

8. ユートピアをめざして (第2展示室)
別海 of あゆみをパネル写真で展示しています。明日の別海町の姿をみなさんと考えるコーナーです。



3. 原野に生きる (生活コーナー)
農業開拓小屋の復元と生活資料を展示しています。

4. 原始林を拓く (林業コーナー)
未開の地、別海 of 原始林を拓くために使われた当時の器具を展示しています。

5. 大自然との闘い (農業コーナー)
別海に開墾の鍬が入れられてからの様子を当時の器具やパネル写真で展示しています。

6. 豊かな恵み (水産コーナー)
別海 of 水産発展の歩みを当時の器具やパネル写真で展示しています。



オオワシ

マンモスソウ臼歯化石

平成10年(1998)に加賀家七代目にあたる加賀實留男氏から、江戸時代末期に当町の野付半島などで活躍した加賀家一族が残した「加賀家文書」と呼ばれる古文書史料など約千点が寄託されました、その史料の保存と教育的活用をはかるために「加賀家文書」を7つのテーマにまとめ別海 of 幕末の様子を紹介しています。

加賀家が見た幕末の別海とは

加賀家文書館



1. 加賀家文書と別海町とのかかわり
加賀家文書の研究の経緯、別海町とのかかわりについてご紹介します。

7. 野付半島～今も残る史跡の数々～
古くから人々の暮らしがあった野付半島の史跡についてご紹介します。

2. 加賀家文書館歴史年表
日本史・北海道史・別海町史を先史時代～現代までの歴史の流れをご紹介します。

●映像コーナー
加賀家文書について、CGなどを駆使しわかりやすくご紹介する映像です。

3. 加賀家の成り立ちと職務の数々
根室地方の江戸時代の様子や加賀家の由来や職務についてご紹介します。

●收藏展示室
加賀家文書が保存されている收藏室です。收藏室の様子をご覧になれます。

4. 伝蔵の一生と業績
加賀家文書の殆んどを残した三代目伝蔵の一生と業績をご紹介します。

●加賀家文書ライブラリー
展示内容をさらに詳しくご紹介するコンピューターシステムや関係する図書をご覧になれます。



5. 野付通行屋と漁番屋
伝蔵が活躍した野付通行屋とその周辺の漁番屋をジオラマで再現しています。

6. 文書以外に残された品々
蝦夷地で使用した品々やアイヌ民族資料を展示しています。



安政六未士人御目見附添井喜多野様井上様竹内様御取扱日記